

■第8回市民懇談会・作業部会の会議録要旨

<p>【名称】 第8回印西市景観まちづくり市民懇談会・ 印西市景観計画等策定庁内会議作業部会</p>	<p>【日付】 H29.6.29(木) 13:30～15:40</p>	<p>【出席者】 懇談会委員:五十嵐・村沢・飯田・山崎・樋口・笠井・下田・ 滋賀・山口・金子 作業部会委員:新岡・鶴岡・星野・立原・杉山・櫻井・ 五十嵐・海老原・板倉・浅野・肥田・塚本 事務局:川嶋・藤崎・篠原・堀内 LAU:吉岡・牧野</p>
<p>【内容】 景観まちづくりのために『5年以内に市民等 が実践したい活動』に向けた意見出し(ワー クショップ)</p>	<p>【場所】 印西市役所別館1階 農業委員会会議室</p>	
<p>【目的】: 印西市景観計画の策定に向けて、景観計画(素案)について説明するとともに、景観まちづくりのために、5年以内に市民等が実践すべき活動に関する意見をもらう。</p> <p>【内容】: (1)資料説明 ○工程表 ○景観計画(素案)について ○色彩基準 (2)ワークショップ 景観まちづくりのために、5年以内に市民等が主体となって推進すべき活動、取り組みについて、意見出しを行う (3)連絡事項 ○次回懇談会は、2月の開催を予定しているので、日程が確定次第、各委員に連絡する。</p> <p>【配布資料】: 次第 資料1:工程表 資料2:印西市景観計画(素案) 資料3:色彩基準(素案) 資料4:ワークショップのテーマと進め方 資料5:意見シート 資料6:名簿 参考資料</p>		
<p>(1)工程表、印西市景観計画(素案)、色彩基準について 工程表、印西市景観計画(素案)、色彩基準について説明した。</p> <p>・特になし</p> <p>(2)ワークショップ 資料4『テーマと進め方』を用いて、説明した。次いで、3班に分かれて、今後5年以内に市民等が主体となって実施すべき活動、取り組みについて意見出しを行った。 各班の意見出しの内容について別紙に示す。</p>		

写真



▲ワークショップの様子(A班)



▲ワークショップの様子(B班)



▲ワークショップの様子(C班)



▲発表の様子(A班)



▲発表の様子(B班)



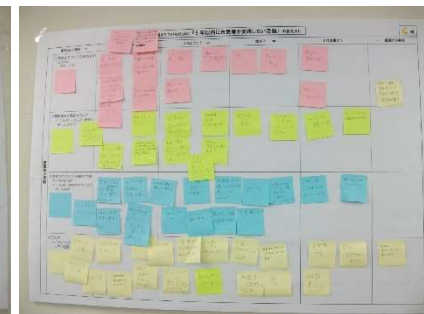
▲発表の様子(C班)



▲台紙の成果(A班)



▲台紙の成果(B班)



▲台紙の成果(C班)

■市民懇談会・作業部会 ワークショップ意見のまとめ

項目	意見の概要		
①景観まちづくり活動を広めるために	<ul style="list-style-type: none"> ● 印西景観フォーラムの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経験者による講演 ・ ポスター掲示 ● 他市の景観シンポジウムの周知 ● まちなみウォッチングや景観ツアーの企画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体の主催 ・ 市民アカデミーの講座として開催 ● 類似自治体との姉妹都市 <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政主体で ・ 内向きになりがちであるが、外部との交流ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報「いんざい」、タウン誌、ラーバンネットの活用、 ● HP 等でまちなみの紹介 ● 景観まちづくりを難しく考えないで、楽しく理解できるように知らせる ● 農・生きものに関するイベント開催 ● 景観顕彰 <ul style="list-style-type: none"> ・ 花壇コンテスト ・ ガーデニングコンテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元の景観の向上、自分の家の前の草刈り <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施例を展示し、幅広くPR ・ 自覚が生まれる ・ 地元、身近な花植え、祭り参加などが最も市民参加型アクションにつながる ● 現在、景観向上活動を行っている団体を洗い出す
②景観資源を掘り起すために	<ul style="list-style-type: none"> ● 徳性院からの眺めの周知（夕方の富士山） ● 小倉台小学校2階廊下からの富士山 <ul style="list-style-type: none"> ・ 印西市に来る人が増える ・ 違った魅力がわかる ● 地域で知られているが、他の地域の人から知らない名所・旧跡の掘り起こし ● 祭礼など無形資産のリストアップ ● 印西の歴史を掘り起こし、景観と歴史を結びつける <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的資料を再確認 	<ul style="list-style-type: none"> ● 百景をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・ 市川市の例のように、市民公募し市民審査で選ぶ ・ ホームページに掲載 ・ 先行している活動団体が、代表的な資源を抽出（サンプル調査）することにより課題をみつける ・ ツアー等に活用 ● ジャンルごと、テーマごとの景観を募集 ● 写真コンクール・コンテストの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真クラブ ・ 里山活動とのコラボ ● 市民主導のイベント ● オープンガーデン <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報で募集 ・ 人気投票 ・ パンフレットつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 景観の良い場所を集めたフリーペーパーを発行 ● 広報に好きな景観のコーナーを掲載 ● 地区の魅力の聞き取り ● 景観の改善点の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 景観をよくするためにどうするか ・ 電柱やケーブルの撤去等
③景観まちづくり活動の仲間づくりのために	<ul style="list-style-type: none"> ● 次世代を担う子どもたちが地区の自慢・オススメポイントをピックアップ <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内各地区にある魅力スポットへの興味を持ち、その保全意識を高める ・ 他者に紹介することで、意識の向上や愛着を持つことにつながり、他地区の風景にも関心を持つようになる ● 学校を交えた事業や発表の機会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育とつながればよい ● 小中学校の生徒を巻き込む <ul style="list-style-type: none"> ・ 父兄 ・ PTA 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民の募集、大学等の協力、町内会等へ呼びかけ ● 市職員、市民活動団体をからめる ● 市民活動支援センターの登録 ● 活動グループの総会を実施 ● 既存の団体（NPO等）メンバーを登録する ● 景観事業の中心となる団体・人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政が仕掛ける ・ 徐々に市民主体に ・ 景観まちづくりの活動の主体をつくる ● 企業の協力 ● 企業・店・地区など、きれいな景観を保っている所を市民に知ってもらう <ul style="list-style-type: none"> ・ 意識づくりにつながる ・ 団体の増加へ 	<ul style="list-style-type: none"> ● ふる里案内人協会へ依頼 ● 花いっぱい運動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般家庭ではなく公共の場所を美しくする ● 県のようにアダプト制度を活用する ● 植物の栽培方法の教室 ● 市民アカデミーで講演会を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 興味のある人材が増える ● 市民活動の支援センター
④その他	<ul style="list-style-type: none"> ● マラソン大会実施（草刈りイベントと連携） ● サイクリングコースをつくる ● 出前授業を実施 ● コスモス畑をつくる ● まちなみマップづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 草刈りイベント実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの人数を集める ・ 464号の美化、花植え ・ 道の市（フリマ） ・ 企業・ボランティア、造園業者協力 ● 休耕地の管理支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏はひまわり、秋はコスモス 	<ul style="list-style-type: none"> ● 景観シンボル事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水辺づくり ・ 川べりに柳を植える（観光客の増加） ・ 川めぐり